

平成27年度第9回教育研究評議会議事要旨

日時 平成28年1月15日（金）15時30分～17時22分
場所 大学本部2階大会議室
出席者 宮崎学長，滝澤理事，門出理事，後藤理事，平地経済学部長，原医学部長，石橋工学系研究科長，渡邊農学部長，諸泉全学教育機構副機構長，富田附属図書館長，森田医学部附属病院長，郭シンクロトン光応用研究センター長，都築評議員，畑山評議員，萩原評議員，大島評議員
欠席者 甲斐文化教育学部長，藤本評議員
陪席者 小坂副学長，佐々木監事

○ 審議事項

1. 審議事項（非公開）

2. 「戦略性が高く、意欲的な目標・計画」の提出について

企画評価課長から，本件について，平成27年7月15日に文部科学省に提出した「戦略性が高く意欲的な目標・計画」について，11月6日の国立大学法人評価委員会において認定方針が示され，12月18日の文部科学省事務連絡により，3つの観点から整理した調書を提出する旨説明があった。さらに，認定方針について理由を整理し，高大接続改革（A：法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取り組むもの），芸術と科学の融合による「やきものイノベーション」の創出（A：法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取り組むもの），佐賀大学版IRの高度化（C：法人の機能強化に向けての法人の強み・特色を一層明確化するため，重点的な資源の再配分を行い，具体的かつ高い水準の達成目標を掲げ取り組むもの）（A：法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取り組むもの）の3点について説明があり，審議の結果了承された。

萩原評議員から，「肥前セラミック研究所」の名称について「セラミックス」ではなく「セラミック」とした理由について確認があり，セラミック＝素材，セラミックス＝製品を表すので，プロダクトとして考えた場合，セラミックス表記の方が適当ではないかとの発言があった。

3. 佐賀大学入学料及び授業料免除等規程の一部改正について

滝澤理事から，本件について，佐賀県教育委員会との協定に基づき，佐賀県教育委員会より派遣される大学院学校教育研究科学生（現職教員）の入学料を免除することに伴い，所要の改正を行う旨の説明があり，審議の結果了承された。

4. 総合情報基盤センター規則改正について

情報管理課長から，本件について，総合情報基盤センター及び医学サブセンターの体制の検討の結果，医学サブセンターの役割を今後，総合情報基盤センターで一元的に管理・運用することに伴い，所要の改正を行う旨の説明があり，審議の結果了承された。

5. その他

特になし。

○ 報告事項

1. 情報セキュリティ対策の今後の強化方針について

情報管理課長から、本件について、体制の整備、技術的対策、教育・訓練、成果の評価と報告の4点について勧告されており、本学における対応について説明があった。

工学系研究科長から、今後の対策について、学生に対するセキュリティ教育も充実する計画とあるが、具体的な計画内容について確認があり、情報管理課長から、総合情報基盤センターにおいて、入学時にID及びパスワードを渡す際、セキュリティについて説明しているが、eラーニング受講によりセキュリティ計画等を充実させる予定である旨発言があった。

2. 平成28年度国立大学法人佐賀大学運営費交付金予定額（政府案）等の概要について

財務課長から、本件について、国立大学法人全体の運営費交付金は10,945億円（対前年度比同額）である旨、国立大学法人運営費交付金のほか、国立大学経営力強化促進事業として80億円（国立大学改革強化推進補助金：60億円、国立大学改革基盤強化促進費：20億円）を計上されている旨、その他運営費交付金以外の主な予算（科研費、学術関係予算以外の主なもの）の公募、機能強化促進係数等について説明があった。また、国立大学法人佐賀大学運営費交付金予定額は、10,558,207千円（対前年度比76,896千円増）である旨、基幹経費、機能強化経費、特殊要因経費等について説明があった。なお、要求時に請求していた電子ジャーナル支援分の予算は措置されていない旨の報告があった。

企画管理課長から、平成28年度国立大学法人等施設整備予算額は、41,800百万円（対前年度比6,890百万円減）である旨、また、本学の事業においては、医学部附属病院病棟・診療棟等改修事業（継続事業）及び本庄町ライフライン再生（中央監視設備等）事業（新規事業）のみ認められた旨、報告があった。

3. 第3期中期目標期間における研究センターの設置等について

門出理事から海洋エネルギー研究センター、低平地沿岸海域研究センター、シンクロトン光応用研究センター、地域学歴史文化研究センターについて、第3期中期目標期間は、共通の留意事項、個別の留意事項を付し、継続設置する旨、毎年5月に活動状況報告を求めることとした旨、報告があった。

学長から、今後は研究成果の目標を明確に設定し、進捗状況（プロセスのKPI）を報告するよう発言があった。

4. 全学委員会等の審議状況報告について

滝澤理事から、全学委員会等の審議状況について報告があった。

5. 会計検査院の实地検査について

財務部長から、平成28年2月16日から19日に行われる会計検査院の会計实地検査について説明があった。

6. 海洋エネルギー研究センターの共同利用・共同研究拠点の認定について
門出理事から、本件について、文部科学省から1月14日に継続認定の通知があった旨の報告があった。また、現在は6年毎に審査を受けているが、次回から3年毎に審査を受けることとなる旨の発言があった。

7. その他
特になし。

○ その他
特になし。

以上